

みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



◀「苦労はたくさんありましたが、つらいとか、しんどいとは思ったことがないですよ」と笑顔で語る本名さん

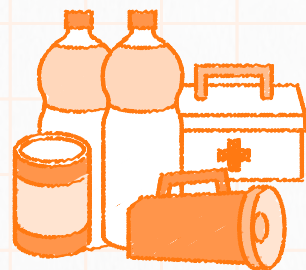
今月の
ひと

地域の防災を考える

八本松市民センターの職員

試行錯誤で行った避難所運営の経験から合同防災訓練を立案

「震災時は、地域に住む700人以上が避難していました。マニュアルがない中での運営は、難しいこともありましたね」そう語るのは、八本松市民センターの事業職員、本名紀恵子ほんなみきこさんです。2010年から八本松市民センターに赴任し、市民講座の企画や運営を担当しています。東日本大震災前から一般の方向けの小規模な防災講座を受け持っていました。震災後は、実際の災害を想定した本格的な合同防災訓練を企画。訓練は「八本松地域防災サミット」と名付けられ、地域の町内会や小学校、八本松地区社会福祉協議会や民生委員まで巻き込んだ大規模なものとなりました。訓練を取り仕切る委員会も立ち上がり、本名さんは事務局長として奔走しています。「顔の見える関係を作っておかないと、いざという時に協力しあうのが難しいと痛感しました」八本松地域防災サミットを通して、地域の人との結びつきが強くなってほしいと本名さんは語ります。「最近、『防災担当部長を決めたよ』、『備蓄品を買ったよ』と、町内会長さんに言われるんです。サミットが刺激になって、町内の皆さんの防災意識が高まってきたみたいでうれしいですね」地域の防災のため、今後もサポートしていきたいと、本名さんは意欲を燃やしていました。



2012

6

第7号

今だからこそ 防災を考える

東日本大震災から1年が過ぎ、
ようやく落ち着いた生活を
取り戻しつつある現在。

でもちょっと待ってください!

災害は忘れたころにやってきます。

今月6月12日の

仙台市「市民防災の日」にちなんで、
今回は仮設住宅での防災を大特集。

仮設住宅にお住まいの方から

寄せられた疑問を、
仙台市太白消防署の
太田千尋消防司令に
お聞きしました。



仙台市太白消防署
消防司令 予防課 太田 千尋さん

防災を呼びかける予防係長として、
太白消防署の予防課に勤務する防災
のスペシャリスト。防災訓練などを通
じて、市民への防災を呼びかけてい
ます。

Q 今さらかもしれませんが、防災についての心構えがあれば教えてください。

A これはとても大切な質問だと思います。まず防災の第一歩はイマジネーションから。常日頃から頭の中で「地震が起きた時はどうすればいいのか」というイメージを思い描くよう心がけておきましょう。例えば「地震が起きたら部屋の家具はどうなってしまうのか?」「津波が来たらどこへ逃げればいいのか」などを

Q 避難場所の名称「一時避難場所」「指定避難場所」「広域避難場所」の違いは?

A 通常、仮設住宅に住む方たちに関係するのは「一時避難場所」と「指定避難場所」だと思います。「一時避難場所」は、災害が起きた直後に一時的に危険を回避するために集まる場

所。「指定避難場所」は、自治体などが定めた一般的な避難場所です。ちなみに「広域避難場所」は、大人数を収容できる避難場所のこと。指定避難場所が危険になった場合などに使用します。

なお避難場所へ移動する際には、可能であれば自宅から食料や毛布などを持ち出すことをおすすめします。今回の大震災でもそうでしたが、支援助資が最初から十分に用意されていることはまずありません。自分の身は自分で守りましょう。

Q もし今回のような大地震が起きた時に仮設住宅にいたら…。家の中と外、どちらが安全ですか?

A 耐震基準を満たしている家であれば、家の中にいる方が安全です。あすと長町の仮設住宅には2階がないため、大地震ですぐ倒壊することはありません。倒壊よりも窓ガラス対策が重要。ガラスが割れないようフィルムや断熱シートを貼っておけば、ガラス片の飛び散りなどを防ぐことができます。

また、万が一の時にすぐ逃げられるよう、出来るだけ出入口付近に待機しましょう。普段から玄関周りを整理整頓しておくことも大切です。

Q 非常持ち出し袋が整理できません。本当に必要なもの、あったら便利なものなどはありますか?

A 「非常持ち出し袋」に入れるのは非常持ち出し品です。備蓄品の「三日分の飲料水

普段から想像しておくことで、実際に災害が起きたときにスムーズに対処できるようにになれると思います。

具体的に想像する事が難しいという方は、自分の住んでいる家の中で寝転がってみることをおすすめします。就寝時の無防備な体勢になり、赤ちゃん目線ならぬ「防災目線」になることで、物が落ちてきそうな場所や倒れそうな家具に気付くことがあります。状況はお住まいの環境によって異なりますので、対処法を家族と話し合ってみてください。楽しみながら考えるのがコツです。

や食料」と、非常持ち出し品とは分けて考える事が大切です。

必ず用意したいのが「命に関わるもの」。特に薬や処方せんなどは忘れてしまいがちです。必ず入れるようにしましょう。次に「自分専用のもの」。メガネや補聴器、入れ歯など、代用がきかないアイテムが該当します。例えばメガネは、度が合わなくて使わなくなったものを入れるだけでOKです。

これらを用意した上で、最小限の水や食料、季節に合わせた着替えなどを用意します。LED電灯やホイッスル、携帯ラジオなどがあるのと更に便利です。

Q 携帯電話から「119」への通報は、市外局番「022」を入れなくてはダメ?

A そのまま「119」でお掛けいただいで大丈夫です。ただ、携帯電話からお掛けの場合はどの場所からお電話いただいたのかは分かりません。慌てずに自分が通報している場所を確認し、住所が分からなければ近くの建物の名称や電柱に書いてある番号などをお伝えください。

ちなみに「119」は、河川や海岸など、市街地以外の災害にも対応しています。災害救助の通報は、すべてこちらに通報してください。ただし、いたずら電話は厳禁。いざという時に本当に救助が必要な人が利用できなくなってしまう可能性があります。ルールを守って正しく利用しましょう。

防災 TOPICS



TOPICS 1 仮設住宅の防災事情

あすと長町仮設住宅自治会に、仮設住宅内の防災対策についてお聞きしました。

自治会では「防災委員会」を設置し、災害時の避難経路や避難場所を決めるなど、仮設住宅にお住まいの方たちの安全を話し合っています。

防災委員会が定める災害発生時の一時避難場所としては、仮設住宅内にある中央広場を設定しています。ただし災害状況によっては集会所横の駐車場付近に変更になる場合も。状況に応じて変わる可能性がありますので、避難ルートをあらかじめ確認しておくことをおすすめします。

また、一時避難場所からの移動先となる指定避難場所には「東長町小学校」が定められています。なお避難する際、単独で動くとは何かあったときに危険が増大しますので、なるべく集団で移動するのが安心・安全です。避難をスムーズに行うためには、避難訓練も大切です。仮設住宅内では年に一度の大規模な防災訓練を予定しています。昨年は十一月に実施しましたが、今年の日程は現在のところ未定。訓練日が決まり次第、自治会を通して通知されますので、積極的に参加しましょう。

TOPICS 2 「べんり」が来る!

地震体験車

仙台市消防局の地震体験車「ぐらら」は、日本でも初となる六つの軌道軸を装備した新しい地震体験車です。前後、左右、上下のアームが作動することで、本物と同じ地震の揺れを再現することが可能で、宮城県沖地震や兵庫県南部地震などの揺れを体験することができます。なお今回の防災Q&Aに協力していた消防司令の太田千尋さんが開発に携わっていたそうです。

昨年仮設住宅内で行われた防災訓練にも登場しましたが、今年も登場する予定。見かけたらぜひ体験してみてください。



TOPICS 3 八本松市民センター「防災サミット」とは

「住民による住民のための防災対策をテーマにした防災会議「八本松地域防災サミット」の第一回会合が、四月十八日に八本松市民センターで開催されました。サミットには、地元自治会や地区の社会福祉協議会、民生委員の皆さんが参加。昨年の反省を踏まえつつ、今年も実施される防災訓練について、積極的な話し合いが行われました。

今年の八本松地域合同の防災訓練は十月十三日の朝八時から実施される予定。今回は八本松小学校が学内行事として参加することも決定しました。「多くの人が参加して、自分たちの防災意識を高めてほしい」と事務局では話しています。



8日(日) ホースセラピー



長町まざらいん主催のイベント「ホースセラピー」が、山形県最上町有志の協力のもと行われました。当日は最上町前森高原から馬2頭が来訪。仮設住宅からも多くの人たちが集まり、乗馬をしたり体をなでたりと、馬とのコミュニケーションを楽しんでいました。

8日(日) 長町まざらいん「語り部の会」



山形県南陽市で民話などを伝える「語り部」を招いた講演イベントが、仮設住宅内の集会所で行われました。語り部の多勢久美子さんが、地元山形に伝わる数々の民話を楽しい語り口調で披露すると、客席から絶え間ないほどの笑い声が響いていました。

20日(金) 二胡による大震災被災慰問演奏会



世界的な二胡奏者ドン・ジンミン氏による慰問演奏会が、仮設住宅内の集会所で開催されました。当日は伝統的な楽曲のほか、クラシックや映画の主題歌など、数々の名曲を熱演。訪れた人たちは一様に、その圧倒的な音色に耳を傾けていました。

21日(土) みんなで大きな絵をつくろう



仮設住宅内の広場で、岐阜県可児市文化創造センター主催のイベント「大きな絵をつくろう」が開催されました。イベントにはクラブスチアリーダーズの子どもたちも参加。アーティストの佐藤健史さんと一緒に、大きなキャンバスに桜の木を描きました。

15日(日) なんちゃってフランス語講座



フランスの文化や言葉に親しめる「なんちゃってフランス語講座」が開かれました。講師のフローランスさんは、長町在住のフランス人。幼少のころに過ごした故郷での暮らしや、里帰りした時のお話などを交え、手作りのお菓子を食べながら、楽しいひとときを過ごしていました。

19日(木) あすと長町仮設住宅のお花見



仮設住宅内に植樹された桜の木を囲んでのお花見会が、植樹を行ったソーケングループの主催で行われました。30名以上の方が駐車場横に植えられた桜の木の周りに集合。打ち立てのおそばやビールなども振る舞われ、うららかな春の日を楽しんでいました。

21日(土) ポプリ作り

フラワーセラピー研究会主催によるポプリ作りが、仮設住宅内の集会所で行われました。ペパーミントやラベンダー、ローズの香りに参加者たちはうっとり。今後、6月上旬にもポプリを製作し、6月9日に長町商店街で開催されるバザーで販売する予定です。

22日(日) Date FM映画無料上映会

公開前の新作映画「ラーメン侍」の無料上映会が、DateFMの主催で開催されました。当日はお菓子のプレゼントなどのほか、上映後には、来場者を対象とした「じゃんけん大会」も実施。会場の集会所へ訪れた人々を喜ばせていました。

28日(土) アートインクルージョンゲーム大会



アートインクルージョン主催によるゲーム大会が、仮設住宅内の集会所横の駐車場広場で行われました。当日は、関西などから訪れた外国人ボランティアの皆さんの協力でイベントを実施。パットゴルフや体感ゲーム、ピンゴ大会などで盛り上がっていました。

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいの方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

宮城野区 中野小学校学区復興対策委員会

中野地区4町内会(港・蒲生・西原・和田)が丸となり、復興に向けた活動を行っています。

5月6日(日) 第20回中野小学校学区復興対策委員会

内容

- 4町内会から報告事項
 - 港:移転候補地として田子を検討中
 - 蒲生:市提供の資料をもとに、移転候補地情報を町内会全家庭へ送付
 - 和田:住民意見交換の場を3ヵ月に1度設けることになり、4月22日に第1回集会をもった。次回は7月15日(日)13:00～、高砂市民センター
 - 西原:4月22日に鶴巻仮設自治会と共催のお花見会を開催
 - 復興・復興(集団移転)について鈴木復興事業監から報告

当日の様子

和田町内会第1回意見交換会で住民から寄せられた質問について、仙台市からその場で回答がありました。具体的に、復興公営住宅へのエレベーターの設置については、集合住宅タイプは設置有。借地に関する質問事項については、Q&A形式の資料で提示することを検討。4月末までの個別相談で示されたQ&Aについては、資料として提示できるよう準備中です。



問い合わせ先: 委員長 高橋實 022-258-3068
定例会議: 毎月第1、第3日曜日16:00～
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

若林区 荒浜移転まちづくり協議会

集団移転の早期実施と移転後の荒浜の地域コミュニティ再生を目的としています。

4月27日、5月4日、11日(金) 定例会議

内容

- 4月27日
コンサルタントによるプレ・ワークショップ
- 5月4日
阪神大震災後の住民による自主再建事例の説明
- 5月11日
1) 仙台東部復興連合協議会の説明
2) アンケートの結果報告
3) 福島県伊達市の都市開発事例紹介

当日の様子

4月27日は集団移転先を想定した図面に、建物の模型を並べて、ワークショップを開催しました。5月4日は阪神大震災後にマンションの自立再建を手がけた神戸の池上氏を迎えて、復興の具体策を話し合いました。5月11日は福島県伊達市のまちづくり事例を検討し、仙台東部復興連合協議会に関する報告を行いました。

代表 末永薫 (問い合わせがある場合は直接定例会議においでください)
定例会議: 毎週金曜日19:00～
荒井小学校用地仮設住宅集会所

若林区 荒浜再生を願う会

荒浜に戻って生活再建を目指す住民有志が中心となって活動しています。

5月12日(土)13日(日) 荒浜フォーラム

内容

- 12日
1) 防災型土地利用規制と津波復興計画の論点
2) 被災者の本音、被災者が聞く
—当事者主導の地域再生に向けて
3) 復興計画策定の「あるべき論」
- 13日
1) テーブルトーク 2) 全体討論
3) コメンテーターのお話

当日の様子

都市計画、防災、地元学などの専門家による話題提供やディスカッションと荒浜住民を交えたグループ討議を通して、荒浜地区の将来像を協議しました。国内外のまちづくりの実例や、都市計画におけるリスクマネジメントのあり方などについて専門家の討議もあり、ふるさとの再生に関しては荒浜に対する住民の強い想いが語られました。

問い合わせ先: 代表 貴田喜一 090-8254-4270
定例会議: 毎週月曜日19:00～
荒井小学校用地仮設住宅集会所

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

読者から
ひとこと

●郡山中学校に避難している時、避難所の近所に住むご夫婦がお風呂に招待してくれたのよ。お風呂だけじゃなく、飲み物までごちそうしてくれて、帰りはわざわざ避難所まで車で送ってくれたの。本当にうれしかったなあ。
太田区/斉藤さん

●毎日、朝晩折り鶴を折っています。二十日間くらいで約八百羽までになりました。手が痛むけど、千羽まであと少し。折りあがったら津波で亡くなった息子と嫁のために仏壇の横に飾って供養したいと思っています。
若林区/はぎえさん

●南蒲生でサーフショップを経営。毎日河口に通っていたが、震災後は一度も海に入っていない。海や自然と向き合ってきたが、今はどうするのが良いことなのか分からない。自分たちに来ることがあれば手伝いたい。
宮城野区/山中晋作さん

リポート・近所ぶらり

広瀬川ポートくらぶ

昔ながらの仙台の風景 広瀬川の貸しポート

広瀬川で貸しポートが楽しめるって、皆さんご存知でした？ 地下鉄河原町駅から徒歩五分、宮沢橋の左岸。河川敷にとめられたキャンピングカーに、写真のような横断幕が出ている。「乗船OK」の目印です。家族・親子・カップルで、川面からの杜の都の眺めを楽しんでみてはいかがですか？

運営するのは、NPO法人「広瀬川ポートくらぶ」。地元会社経営者や商店主らで二〇〇九年八月、広瀬川の貸しポートを約二十年ぶりに



事務局長の鈴木さん(左)と監視員の小山さん。後ろの横断幕が「営業中」の目印です

復活させました。「復活のきっかけは弊社の菅井一男社長の思いです。会社から見える広瀬川にポートが浮かぶ往時の景色が忘れられず、地元の人たちに復活を呼び掛けたいんです」。ポート再開の中心となった地元の建設コンサルタント「サトー技研」の取締役総務部長で、クラブの事務局長を務める鈴木徹郎さんが、復活の経緯を解説してくれました。

都会と自然の景色を眺め 水辺を気持ちよくスイスイ

ポートは十二艘。定員は大人三人です。広瀬川の貸しポートはかつて、仙台のデートスポットとして有名だったそう。当時を懐かしんで訪れる年配のお客さんも多いそうです。料金は一艘につき四十五分五百円。監視員さんが常駐しているの、安心して楽しむことができます。初めは怖がっていた子どもも、水に手を入れたり、魚影を見つけたりしているうちに夢中になって、「降りたくない」と言い出すこともしばしば

だそう。取材したわれわれ女子大学生三人組は、貸しポートは未体験。鈴木さんから「ぜひ乗ってみて」とのお言葉をいただき、早速挑戦しました。最初は流されてしまいました。監視員の小山義治さんの教えもあり、数分後には川面を気持ちよくスイスイ。自然と都会が一体となった眺めと、水上にたたずむゆったりとした時間を楽しませてくれました。



貸しポートは年代も性別も超えて手軽に楽しめるレジャーとしておすすめです

「ポート目当てに人が集まり、地元商店街にも人が流れる。そんな地域の活性化と、子どもたちが水に触れあう環境づくりが、われわれの目標です。広瀬川を楽しむには、ここ

は絶好のロケーション。あすと長町仮設住宅にお住まいの皆さんも、まだまだご苦労が多いと思いますが、ポートに乗って仙台のすばらしさを再確認し、リフレッシュをしていただきたいと思います」と鈴木さん。ポートに初めて乗った私たちの感想は「たかがポート、されどポート」。老若男女がワンコインで楽しめるレジャーとして、心底おすすめです。



ポート初挑戦の私たち。川面からの眺めは新鮮でした

【広瀬川ポートくらぶ】
営業期間：4月下旬～11月上旬
(今年は11月4日まで)
定休日：季節によって変動
営業時間：10:00～17:00
(季節によって変動)
TEL：022-262-3535
(事務局のサトー技健)

川の増水や雨天、強風などで営業を中止することがあります。
電話やホームページ
(<http://hirosegawa.jp/>)での事前確認をお勧めします。

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

バラ園見学バスツアー参加者募集

みやぎ生協仙塩ボランティアセンターが、被災地応援企画として、登米市迫町のバラ園見学＆花摘み体験バスツアーを企画します。バラの香りに包まれて、からだと心のリフレッシュしましょう。

- 対象 東日本大震災で被災された方
- 時 7月9日(月)8:30仙台駅西口バスプール出発(15:00仙台駅着予定)
- 内容 フリーリアバラ園見学など
- 参加費 500円(昼食費含む)
- 定員 40名 ※お子様は座席の都合上ご遠慮ください
- 申込方法 お名前・住所・電話番号をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで申込んでください(1通あたり2名まで)
- 申込締切 6月25日(月) ※応募多数の場合抽選。結果はハガキで連絡
- 申・問 みやぎ生協生活文化部 仙塩ボランティアセンター(八島) 〒981-3194 泉区八乙女4-2-2 022-218-5331、FAX022-218-5945 Eメール: sn.mvc_sendai@todock.jp

巡回相談

地域支えあいセンターによる巡回相談です。生活上の困りごとなどの相談に応じています。

- 対象 主に借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方
- 巡回相談(6月10日～7月10日 9:30～15:00)
- ▼太白区中央市民センター(毎週土曜日)
6月16日、23日、30日、7月7日
- ▼富沢市民センター(毎週木曜日)
6月14日、21日、28日、7月5日
- ※常設の「支えあいセンターたいはく」もご利用ください
- 住所 中核支えあいセンター内(青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ4階)
(開所時間/8:30～17:00、相談受付/9:30～15:00、休/日・月曜日、祝日の翌日、年末年始)
- 問 022-217-7234 仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所) ※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
6月12日(火) 10:30～12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台的のちの電話事務局 022-718-4401
6月12日(火) 13:30～15:00 6月26日(火) 13:30～15:00	心の悩みを聴く おしゃべりとお茶の時間	仮設住宅入居者	仙台傾聴の会 080-3199-4481 (森山/火・木・土曜日 9:00～17:00)
6月16日(土) 16:00～17:00	オカリナとサクソフとユーフォニアムによるハートフルコンサート	仮設住宅入居者	佐久総合病院 0267-82-3131 (内線470/再構築推進室・師川)
6月18日(月) 10:00～12:00	いきがいステーションあすと！手芸教室 料金/200円※要事前申し込み	仮設住宅入居者	仙台市郡山老人福祉センター 022-308-5332
6月19日(火) 13:30～15:30	遊びリレーション 皆で生き生きレクリエーション	仮設住宅入居者	太白区レクリエーション協会 090-5594-5008(中島)
6月20日(水) 10:00～12:00	ジャズ演奏	仮設住宅入居者、近隣の方	安心安全な町づくり 022-247-0659
6月20日(水) 13:00～15:30	糸あそびの会	仮設住宅入居者	色葉工房 090-9072-2160(庄子)
6月23日(土) 13:00～15:00	おしるこカフェ	仮設住宅入居者、近隣の方	アート・インクルージョン実行委員会 080-4357-7035(門脇)

震災で汚れた写真の洗浄をしています

泥や海水で汚れた写真はありますか？ 仙台市内で活動する震災復興ボランティア団体「おもいでかえる」が、写真をきれいに洗浄してお返しします。

- 【ボランティアも同時募集】
写真に興味のある方、写真洗浄のボランティアをしませんか？ お気軽にお問い合わせください。
- 問 070-5473-3585 おもいでかえる(金谷、千葉)

被災者を狙ったヤミ金融にご注意ください

ヤミ金融は①携帯電話やダイレクトメールなどで勧誘し、法外な高金利で貸し付けします②被災者を狙ってやさしい対応で誘いますが、取り立ては執拗です。申込み前に、貸金業の登録業者かを確認し、あやしいと思ったら情報窓口にご相談ください。東北財務局では、貸金業の登録確認やヤミ金融に関する相談を受け付けています。

- 情報窓口・連絡先 022-721-7078 東北財務局金融監督第三課(仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎4階)
月～金曜日9:00～17:45(祝日・年末年始除く)

わかちあいの会&子どものためのワンデイプログラム

大切な人を亡くしたご遺族同士が、悲しみや怒り、つらい気持ちなどを語り合う会です。参加無料。

- 【大人向けプログラム】「わかちあいの会」(予約不要)
対象 大切な人を亡くされた方などなたでも
時 6月16日(土)14:00～16:30
所 仙台青葉学院短期大学
内容 ご遺族同士の話し合いの会です
- 【子ども向けプログラム】「ワンデイプログラム」(要予約)
対象 親や兄弟など大切な人を亡くした幼児から中学生までの子どもなどなたでも
時 6月16日(土)13:00～16:30
所 仙台青葉学院短期大学
内容 お話やゲームなどで楽しい時間を過ごします。つらい気持ちを友だちと分かち合うこともできます
- 申・問 070-5548-2186 仙台グリーンケア研究会事務局

こころ編 ♪同じ仮寝の露の宿ってが!?

十三年前に一百二歳で亡くなった老父が生前よく言っていたもんです。自分の人生を語るのに百年はかかるって。とは云っても、父にとって一世紀も生きた人生ですが、きつとあつといふ間の歳月だったのかも知れませぬ。それに、生きるってことは、本当はとも寂しく儂いものなのでせうね。だってほら、嬉しいことや楽しいことは長くは続いてくれませんし、逆に辛いことや悲しいこと、口惜しいことや腹の立つことは、この身にしつこく纏はり付いて、なかなか離れてくれませんものねえ。

で、考へましたよ。これまでは活きる命(活命)の方にばかり齷齪としてをりましたけど、実はこの世に両親を縁として誕生した時から、誰も皆例外なく、活きる命と同じ割合で必ず死すべき命(死命)をも生きてあるといふことがこの身にすでに組み込まれてゐたんだってことを、この際すっかり自覚して日暮らしをして行かうってね、思ひました。昔のお侍さんは常にこの死する命を意識して、日々心身を鍛錬してゐたさうです。未だ「憲法九条」も「銃刀法」もなかったたので、各自武器を所持してたわけですから。

徳照寺 住職 佐藤和丸

佐藤和丸 (さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D
---	---	---	---

1	2	3	4	5
6	7	B	8	
	9	10		C
11	12	13	14	
	A	15	D	
16	17	18	19	
	20			

タテのカギ

- ①その形状が名前の由来。仙台の名産となった笹○○○○
- ②「神子」とか「巫女」と書きます
- ③深く考えず、工夫のないこと
- ④仙台平野の風土から生まれた美味、長○○漬け
- ⑤陰暦で5月は皐月、では6月は?
- ⑦日本で初めて金を産出したことにちなんだ施設、遠田郡涌谷町にある天平○○○館
- ⑩間違った知らせ
- ⑫手間がかからず、簡単で便利なこと
- ⑭油揚げを入れればキツネ、生卵を入れたら?
- ⑮○○○汁は、冬野菜と、この魚のぶつ切りをいれた汁もの
- ⑯三陸の夏の珍味。海のパイナップルとも呼ばれます
- ⑰「猛者」の読み方は?
- ⑱○○振り合うも多生の縁

ヨコのカギ

- ①葉菜山、陶芸の里があるのは○○町
- ③大勢で行動するとき、これをそろえないとまとまりません
- ⑥主原料に落花生の粉を使うお菓子で、仙台駄菓子として紹介されることもあります
- ⑧俗に、相撲の土俵に近い席は、○○かぶり
- ⑨家族でレジャー、パパやママからはぐれちゃうと・・・
- ⑪ある人物の作品だけの展覧会
- ⑬山元町で海の幸を使った名物といえば、○○○ご飯
- ⑮入学や入社が一緒
- ⑯焼けたら千切りキャベツにソースをかけて一緒に食べるのが気仙沼流のB級グルメ
- ⑰政宗公の時代から、伝統の製法で辛口の風味を持ち味とする、仙台○○
- ⑱胸骨と肩甲骨とをつなぐ骨

前回のこたえ

A ス B ズ C メ D オ E ド F リ

でした。

1	ア	2	シ	3	ハ	4	ニ	5	ユ	ウ
6	オ	6	サ	7	ト	8	ミ			
	バ		ト		7	イ	ズ	8	ミ	
	9	コ	ウ	10	エ	ン				ノ
11	1	ク	メ		ン	12	ハ			リ
	リ		13	カ	ツ	ド	ウ			
14	ク	ド	ウ		15	ス	ナ			

編集後記

ダイエット開始から1ヵ月。今回は「太りすぎによる命の危険」を理由に始めただけに、生まれて初めてと真剣に取り組んでいます。結果…なんとか5kg減をキープしています。(さいとう)

仮設住宅の方に、にんにくの臭いが梅干を舐めるとなくなることを教えてもらいました。早速ニンニク料理を食べ、冷蔵庫を開けてみると、なんと! う、梅干がない!! ぬかりました。(あつみ)

情報提供のお願い

「みらいん」は、皆さんと一緒に作り、歩む情報紙です。紙面に対するご感想や、紹介したい人や場所、今抱えている思いなどのコメントをハガキ、FAX、メールでお寄せください。読者の皆さんの思いを、紙面に反映していきます。

送付先: 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12

「みらいん」編集部

F A X : 022-390-5756 e-mail : kawara@mmmm.or.jp